

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	405A	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：405A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

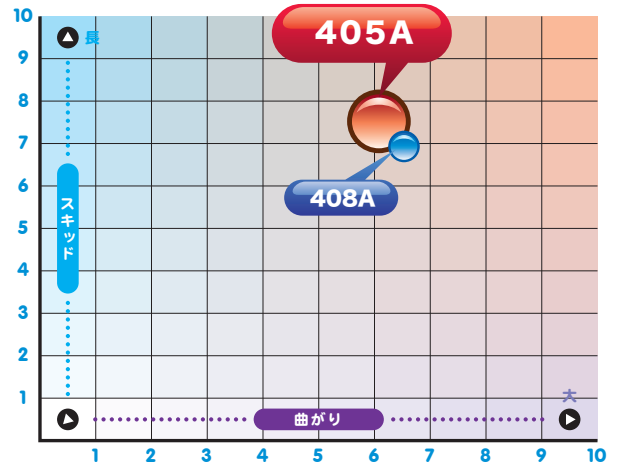
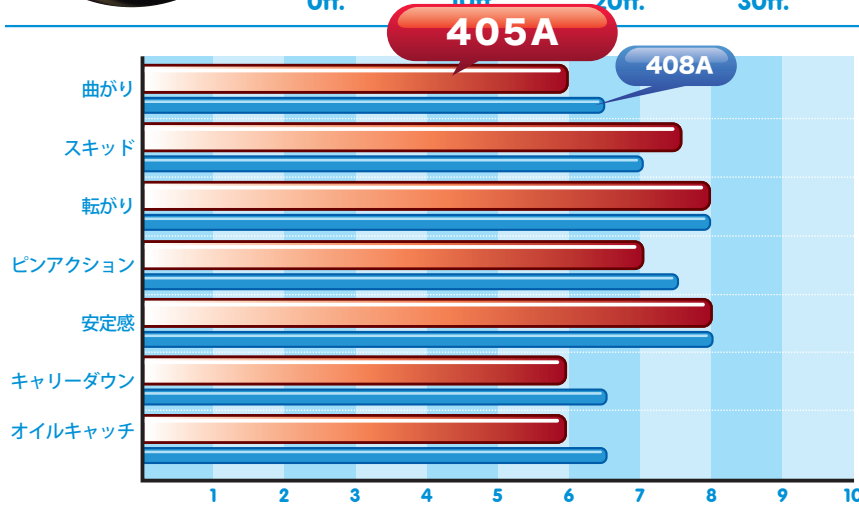
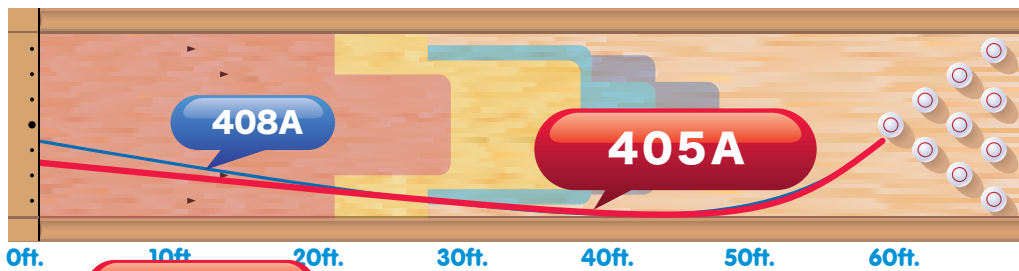
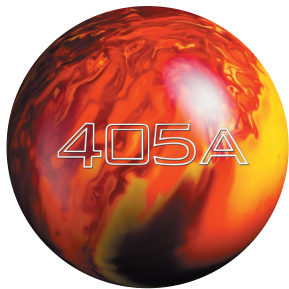
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：408A

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

私たちがこの405Aに求めた性能は、「4シリーズ中最もスキッドし、シャープなリアクションを実現させること」です。カバーストックのケミカルチューンが進み、ナンバーシリーズ各々のカテゴリーでキャッチが強まる傾向の中、スキッド重視の”A”(Angular)の性能に今回拘りました。

スキッド重視と言えどキャッチを損なわず、軽いスキッドの中にもバックエンドでしっかりと運動させられるだけのドライゾーンでのキャッチ感のカバーをTRACK社に依頼、幾度となる作り直しの中、私たちが求めていたスキッド感とバックエンドでシャープなリアクションを併せ持つ、この日本完全監修の405Aをリリースできる日がきました。

投球する前から見た目走りを感じるカラー色と、走りを重視したカバーの仕上がりがとても相性が良く、今まで発売された”4”シリーズ中最も走るというコンセプトと”A”(Angular)なリアクションは忠実に実現されています。走らせることとドライゾーンでの反応を求めたため、他のボールと比べオールマイティーな領域の性能ではなく、やや遅いコンディションに特化し、その領域でのスペシャリスト的領域のボールと思って頂いて良いと思います。今回価格をミッドプライスにしたのも今までにない鮮やかなRed/Orange/Yellowの3色のマルチカラーにしたのも、スピードがやや不足している女性ボウラーを中心に、多くの方にこのボールを使って頂きたい意図から性能、カラーリング、価格帯までABSが拘りを持って作り上げました。最近の主流のボールで走るボールをお探しの方、トーナメントの後半で使うボールが欲しい方、是非この405Aを使用し頂き、積極的にラインを攻めてください。

特記事項

人気のナンバーシリーズからミディアムライト以下で攻撃的にラインを攻めることができる**405A**。鮮やかなマルチカラーで女性の方には特にオススメしたい性能でもあります。